

TFTおよび難民・移民の外傷的 ストレスからの回復

JATFT

TFTおよび難民・移民の外傷的ストレスからの回復

TFTおよび難民・移民の外傷的ストレスからの回復 ロバート・ブレイ、クリスタル・フォークス

サンディエゴのパイロット・プロジェクトは、移民、難民者の心的外傷後ストレス症状を解決するのに役立つTFTの効果をはっきりと証明した。サンディエゴ小学校カウンセリング・パートナーシップSan Diego Elementary School Counseling Partnership(US教育省からの助成金)は、サンディエゴ市中心部の子供や家族の外傷的ストレス・クリニックのへの支援を2ヶ月間行った。短期間ではあったが、大変価値あるものだと証明された。

このプロジェクトは、主に移民や難民にサービスを提供する中心部の学校エリアで行った。Andrew Jackson小学校がいくつかの移民コミュニティを主に受け入れ、1165人の児童の70%は英語があまりできず、90%が学校での無料の朝食と昼食を支給されていた。

このグループが選ばれたのにはいくつかの理由がある。第一に、全体的にサービスを受ける必要性が高く、より特定のには、母国での外傷体験を解決しアメリカに移る必要性が高かったからだ。次に、彼らには治療するという習慣がなく、「異邦人」への不信感から、このグループは従来のカウンセリング・サービスでないほうがよいだろうと思われた。最後に、英語ができないこと、通訳を探すのが困難なこと、そして速い治療が必要だと判断された。

アルゴリズムの訓練を受けたカウンセリング実習生と診断の訓練を受けたスーパーバイザーがサービスを提供した。カウンセラーのうち3名は、複数の言語を話し、エチオピア、メキシコ、アメリカ、ソマリアなど複数の文化に精通していた。クライアントは、英語、スペイン語、アムハラ語(エチオピア)、ティグリニア語(エリトリア)、ソマリア語、フランス語、スワヒリ語、アラブ語が使われた。

3回までのTFTセッションが個人や家族に無料で、学校や家で行われた。ほとんどのケースで、TFTは他の家族やコミュニティの人たちの目で行われた。心理的脅威のひとつの出来事から最悪の暴力や拷問の複数の出来事にわたる、記憶に基づいた広い範囲の思考場を治療するのにアルゴリズムが使用され、TFT診断が2名に行われた。情報、教育、紹介、他の援助が適切に家族に与えられた。

初めの面接で、クライアントは外傷後ストレス症状の評価をするテストを行ってもらった。市民用PTSDチェックリスト(PCL-C)と子供用PTSDチェックリスト(PCL-Child)が使用された。チェックリストは17項目あり、先月にはどのくらいの頻度で症状を経験しているかを1から5で示してもらった。このセルフレポートの調査形式は、カットオフの40ポイントまたはそれ以上の90%にPTSDがあることを予測する診断的な有効性があることをいくつかの研究では示している。PCL-CもPCL-Childもアムハラ語、ティグリニア語、ソマリア語、スペイン語に翻訳された。言語や読み書きに問題があるケースには、カウンセラーが説明を加えることなく、クライアントに大きな声で内容を読み上げ、クライアントは自分の答えをチェックするように指示された。クライアントは、治療後 30日以上してから同じテストを行った。

合計64人が行い、うち34人が治療前後どちらのテストも行い、外傷後ストレスの症状を評価した(前 $X=51.3$, $SD=14.1$; 後 $X=31.23$, $SD=13.5$)。全体で、ほとんど40%の症状緩和が報告された。これらの結果は年齢、母国語、性別、人種、サービス提供者に関わりなく一定であった。PCLの治療前テストで40ポイントのカットオフを超えてPTSDと診断された29人を分析すると、TFTの真価がより明らかになる。29人のうち18人(62%)は、PTSDと診断される閾値より、治療後にはスコアが低くなっているのだ。治療前に閾値よりもスコアが高かった他の11人は、少なくとも20%は症状が減少したと報告した。最後に、79%が外傷的ストレス症状の頻度において著しい改善を報告した。

一般的にそして特に難民層の外傷性ストレスに精通している臨床家なら、これらの結果が従来の方法よりはるかに超えたことを理解しているであろう。

Thought Field Therapy and Traumatic Stress Recovery for Refugees and Immigrants
By Robert L. Bray, Ph.D., LCSW, CTS, TFTdx, and Crystal Folkes, MS
www.rlbray.com